

# 依存症対策に関するアンケート調査結果

保健医療課

## 1 調査目的

県では、誰もが「ギャンブル等」などの依存症により不幸な状況に陥ることのない健全な社会の実現を目指し、依存症の本人や家族等への包括的支援体制の構築を推進しています。そこで、今後の依存症対策の参考にさせていただくため、アンケート調査を実施しました。

## 2 調査対象等

調査対象: 県政モニター967人(うちインターネットモニター634人)

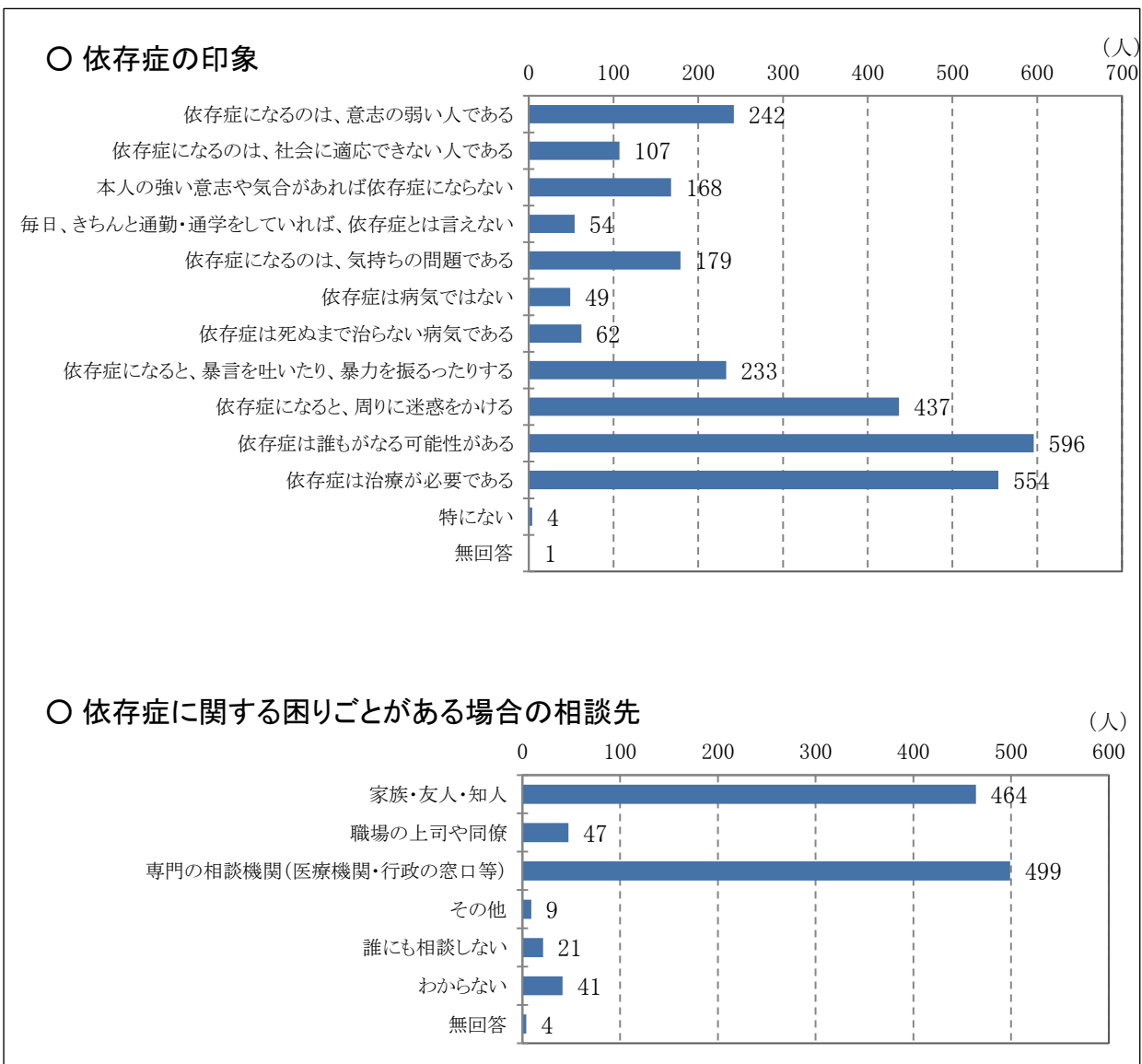
調査方法: 郵送及びインターネット

調査期間: 令和3年8月10日～8月30日

回収結果: 715人(回収率73.9%)

構成比はパーセントで表し、小数点以下第2位を四捨五入して算出しています。  
そのため、合計が100%にならない場合があります。

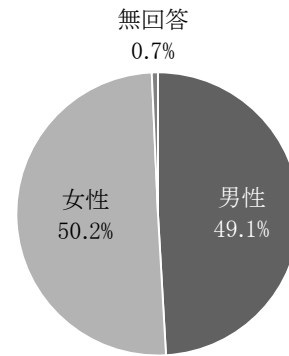
## 3 結果概要



## 4 回答者属性

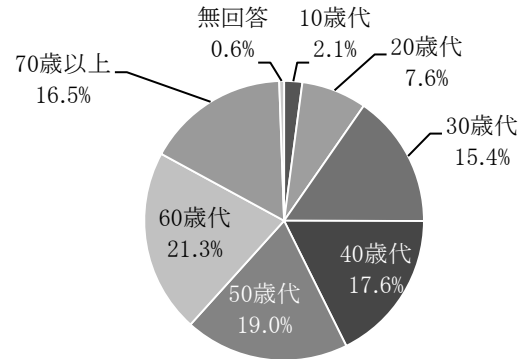
### (1) 性別

	人数	割合
男性	351	49.1%
女性	359	50.2%
無回答	5	0.7%
計	715	100.0%



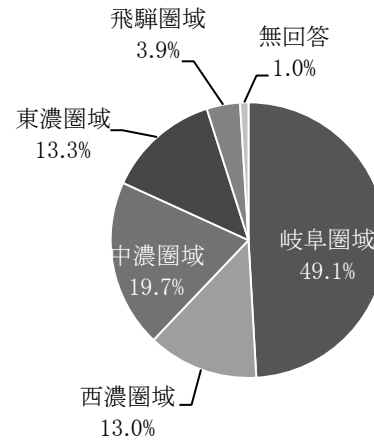
### (2) 年代別

	人数	割合
10歳代	15	2.1%
20歳代	54	7.6%
30歳代	110	15.4%
40歳代	126	17.6%
50歳代	136	19.0%
60歳代	152	21.3%
70歳以上	118	16.5%
無回答	4	0.6%
計	715	100.0%



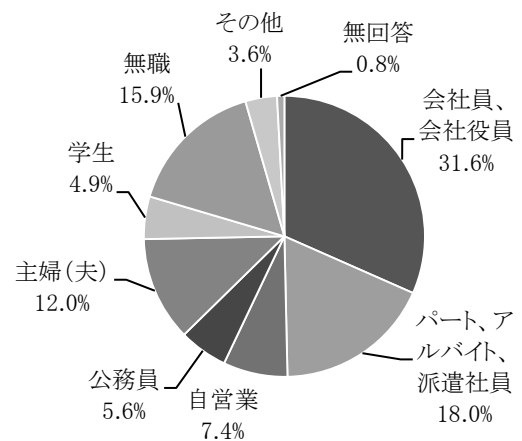
### (3) 居住圏域別

	人数	割合
岐阜圏域	351	49.1%
西濃圏域	93	13.0%
中濃圏域	141	19.7%
東濃圏域	95	13.3%
飛騨圏域	28	3.9%
無回答	7	1.0%
計	715	100.0%



### (4) 職業別

	人数	割合
会社員、会社役員	226	31.6%
パート、アルバイト、派遣社員	129	18.0%
自営業	53	7.4%
公務員	40	5.6%
主婦(夫)	86	12.0%
学生	35	4.9%
無職	114	15.9%
その他	26	3.6%
無回答	6	0.8%
計	715	100%

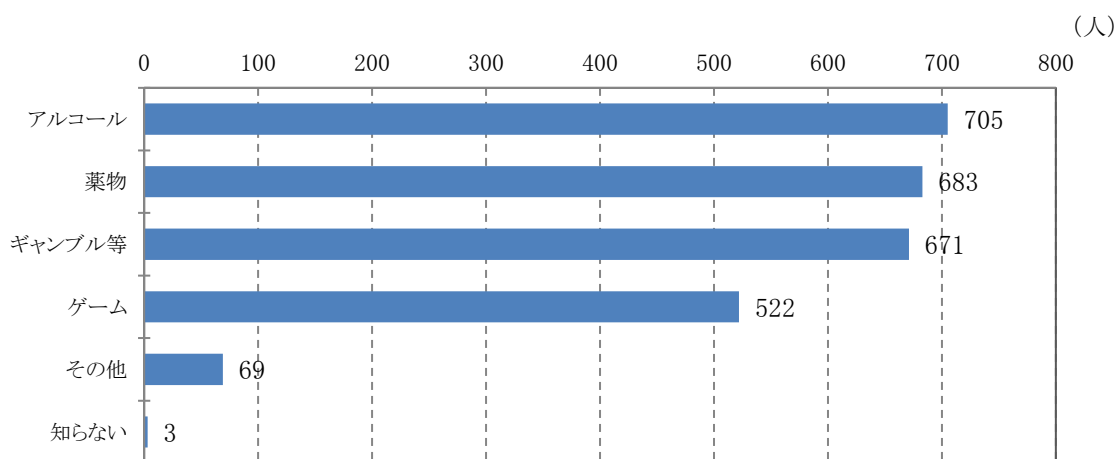


## 5 調査結果

問1 依存症になると、日常生活や心身の健康、大切な人間関係などに問題が起こっているにもかかわらず、依存対象をやめ続けることが難しくなります。次の中で、あなたが知っている依存症をあげてください。

(複数回答) 回答者 715 人

	回答数	割合
アルコール	705	98.6%
薬物	683	95.5%
ギャンブル等	671	93.8%
ゲーム	522	73.0%
その他	69	9.7%
知らない	3	0.4%
計	2,653	-



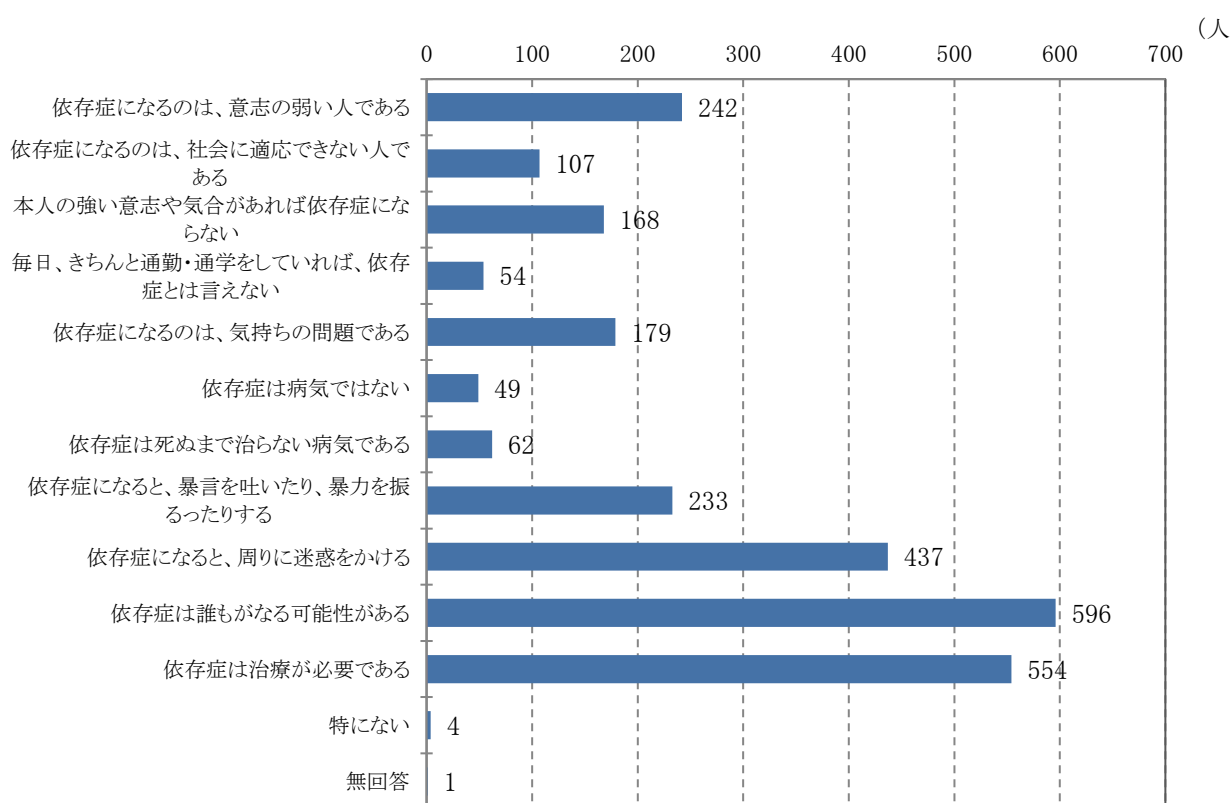
「その他」のうち主なもの

- ・ スマホ
- ・ 買物
- ・ タバコ

問2 あなたが依存症について持っている印象として、あてはまるものを次の中からすべてあげてください。

(複数回答) 回答者 715 人

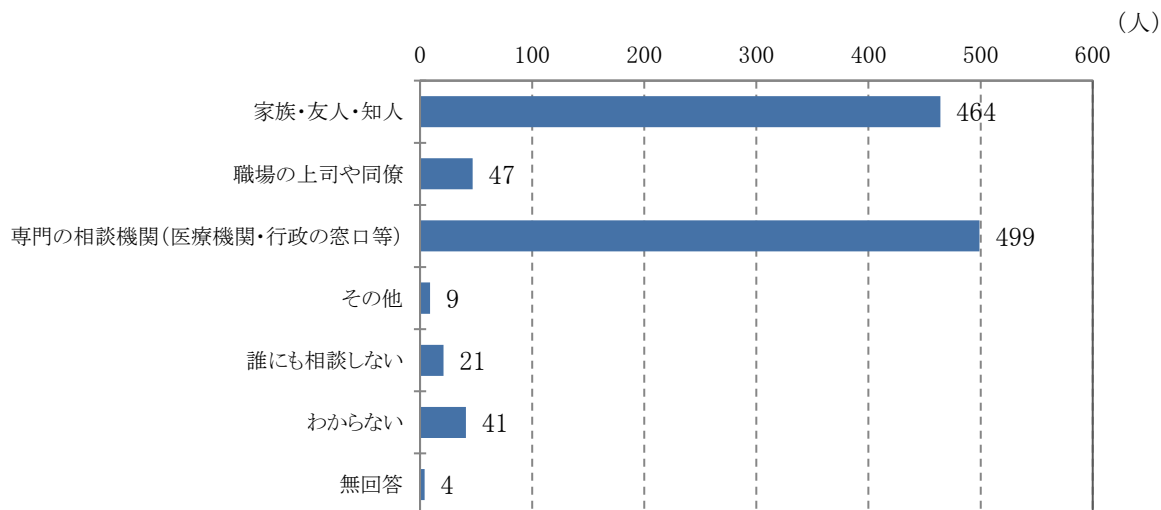
	回答数	割合
依存症になるのは、意志の弱い人である	242	33.8%
依存症になるのは、社会に適応できない人である	107	15.0%
本人の強い意志や気合があれば依存症にならない	168	23.5%
毎日、きちんと通勤・通学をしていれば、依存症とは言えない	54	7.6%
依存症になるのは、気持ちの問題である	179	25.0%
依存症は病気ではない	49	6.9%
依存症は死ぬまで治らない病気である	62	8.7%
依存症になると、暴言を吐いたり、暴力を振るったりする	233	32.6%
依存症になると、周りに迷惑をかける	437	61.1%
依存症は誰もがなる可能性がある	596	83.4%
依存症は治療が必要である	554	77.5%
特にない	4	0.6%
無回答	1	0.1%
計	2,686	-



問3 依存症に関する困りごとがある場合、あなたは誰に相談しようと思いますか。

(複数回答) 回答者 715 人

	回答数	割合
家族・友人・知人	464	64.9%
職場の上司や同僚	47	6.6%
専門の相談機関(医療機関・行政の窓口等)	499	69.8%
その他	9	1.3%
誰にも相談しない	21	2.9%
わからない	41	5.7%
無回答	4	0.6%
計	1,085	-



「その他」のうち主なもの

- ・ 民間のカウンセリング
- ・ 同じ境遇の仲間
- ・ 霊媒師

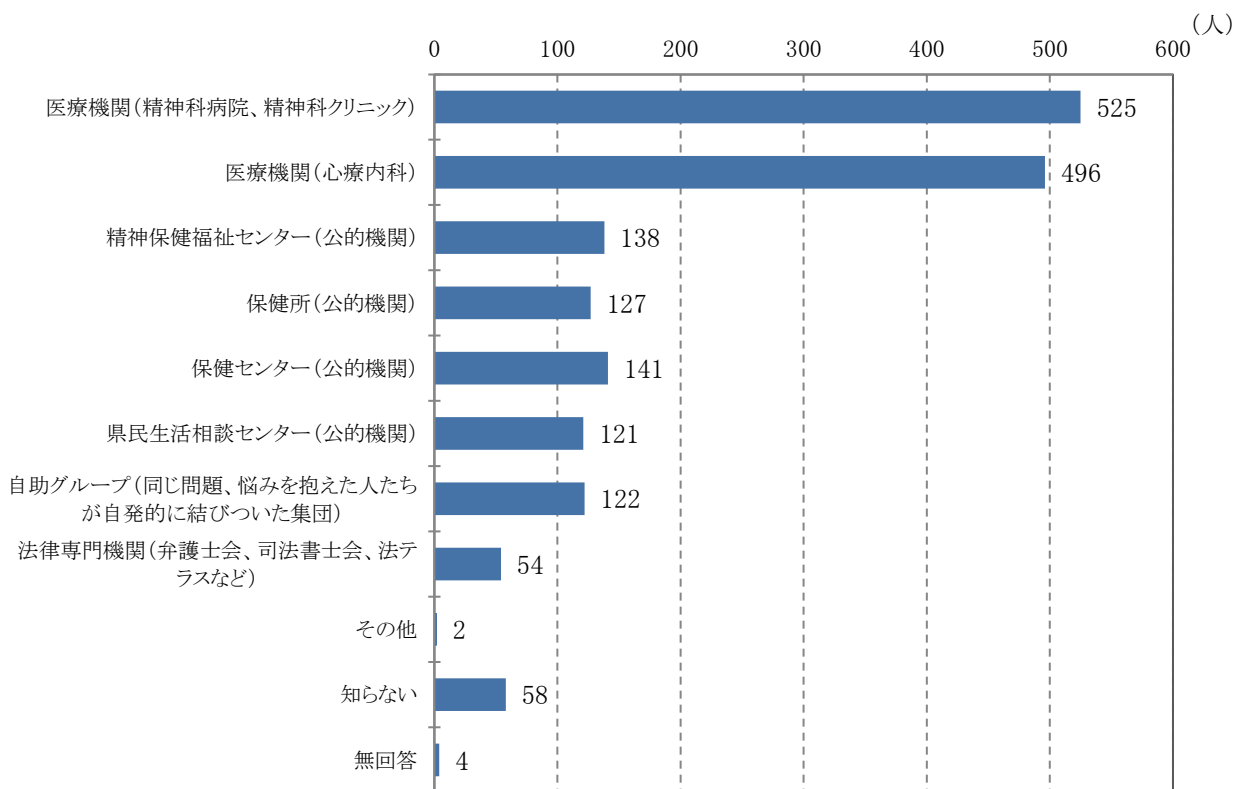
「誰にも相談しない」のうち主な理由

- ・ 相談相手がいない
- ・ 相談したくない、弱みを知られたくない
- ・ 止める決断力がある、他力本願ではリバウンドしやすい
- ・ 死んでも治らない

問4 あなた自身やあなたの家族に依存症が疑われる場合、相談できる機関としてあなたが知っているものをすべてあげてください。

(複数回答) 回答者 715人

	回答数	割合
医療機関(精神科病院、精神科クリニック)	525	73.4%
医療機関(心療内科)	496	69.4%
精神保健福祉センター(公的機関)	138	19.3%
保健所(公的機関)	127	17.8%
保健センター(公的機関)	141	19.7%
県民生活相談センター(公的機関)	121	16.9%
自助グループ(同じ問題、悩みを抱えた人たちが自発的に結びついた集団)	122	17.1%
法律専門機関(弁護士会、司法書士会、法テラスなど)	54	7.6%
その他	2	0.3%
知らない	58	8.1%
無回答	4	0.6%
計	1,788	-



「その他」のうち主なもの

- ・ 民間のカウンセリング
- ・ 同じ境遇の仲間
- ・ 霊媒師

問5 「精神保健福祉センター」は、各都道府県・政令指定都市に1か所ずつ設置されています。あなたは、「岐阜県精神保健福祉センター」が依存症相談拠点であることを知っていますか。

	人数	割合
知っている	56	7.8%
名称は聞いたことがあるが依存症相談拠点であることは知らない	157	22.0%
名称も依存症相談拠点であることも知らない	499	69.8%
無回答	3	0.4%
計	715	100%

